

教育研究活動の充実に向けたスクラム

東京都教育庁指導部教育計画担当課長 後藤 彰

東京都教育委員会は、各教科等に関する研究活動を通じて、所属校だけでなく、当該地区等における教育研究活動の中核となる人材の育成に向けて、教育研究員制度を設けています。

平成24年度は、290名の教育研究員が「学習指導要領に対応した授業の在り方」という共通の研究テーマに基づき、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校ごとに各教科等の部会を設置して、研究を進めてきています。

例えば、小学校体育では、研究主題を「運動の楽しさや喜びを味わいながら、確かな力を身に付ける体育学習」とし、運動の特性や児童の発達の段階を踏まえた指導計画を作成するとともに、指導方法の工夫に取り組みました。

中学校理科では、研究主題を「言語活動を通じた、科学的な思考力・表現力の向上を図る授業の工夫」とし、思考の広がりや深まりを目指したグループ活動の工夫として、話し合いや発表を活発に行うための教具の開発に取り組みました。

高等学校国語では、研究主題を「学習の過程で効果的に評価を行い、思考力・判断力・表現力等を育成する授業の在り方について」とし、「読むこと」の指導過程で各々の生徒がもつ意見について、交流活動を通じて再構築させる授業実践を行い、その指導の過程で適切に評価を行うとともに、思考力・判断力・表現力の伸長を測る評価問題を作成し、単元の指導全体について検証する研究に取り組みました。

特別支援学校部会では、研究主題を「個別指導計画に基づく個に応じた授業展開」とし、個別指導計画の一層の活用を図ることを目的とした「個別指導計画活用シート」や「評価シート」及び「単元計画シート」の研究・開発に取り組みました。

他の部会等でも様々な研究に取り組んでおり、2月末まで各部会の研究発表会が学校を会場にして行われます。ぜひとも、御参加いただき、日々の授業改善にお役立てください。

目 次

平成24年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果に基づく『授業改善のポイント』～確かな学力の定着と伸長を目指して～が完成しました。	2
1 「授業改善のポイント」	
2 「読み解く力を育む指導の充実」	
3 「日常の授業を見直してみよう」	
「 道徳教育の窓 」 - 東京の子供たちの豊かな心を育む -	4
「 理数教育の窓 」 - 理数好きの子供たちを育てるために -	5
「 特別支援教育の窓 」 - 全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して -	6
平成24年度 教育研究員発表会開催一覧	7

本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを送信してください。

なお、本メール・マガジンは、pdfファイルにて提供いたしますので、携帯電話では読むことができません場合があります。

平成24年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果に基づく『授業改善のポイント』～確かな学力の定着と伸長を目指して～が完成しました。



平成24年11月に各学校に配布しました「平成24年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査」の『報告書』の内容に基づくリーフレット「授業改善のポイント」《小学校版》《中学校版》を作成し、各学校を通して、先生方一人一人に配布いたしました。「報告書」と併せて、ぜひ御活用ください。

1 「授業改善のポイント」

小学校算数の例

授業事例 第4学年「複合図形の面積」

図形の面積をいろいろな方法で求め、説明してみましょう。

1 問題の概要を捉える。
 T: 右のような図形の面積をいろいろな方法で求めましょう。
 C: 長方形や正方形の面積なら求めることができるね。
 C: 長方形や正方形に分けて考えてみよう。

2 いろいろな方法で面積を求める。
 T: 補助線を引いて、考え方を説明してみましょう。

Aさん Bさん Cさん Dさん

②と③の2つに分けてそれぞれの面積を求めました。
 ②と①と③の3つに分けてそれぞれの面積を求めました。
 ②と③の2つに分けて、②を移動して長方形にしてその面積を求めました。
 ⑤の面積から④の面積をひいて求めました。

3 学習した複数の考え方を活用し、新たな図形の面積を求める。
 T: いろいろな方法で面積を求めることができました。これらの方法に共通点はありますか。
 C: どの方法も長方形や正方形をもとにしている。
 T: 次のような図形の面積はどのように求めますか、自分が一番よいと思う方法で求めましょう。
 C: 3つの長方形や正方形に分けて求めようかな。
 C: 大きな長方形から小さな長方形をひいて求めよう。
 C: 必要な長さを求める必要があるね。

4 面積の求め方を説明する場を設定する。
 私は、Dさんの方法で面積を求めました。なぜなら、2つの長方形の面積を求めればよいので、簡単に求めることができるからです。
 式は、 $10 \times 14 - 3 \times 7 = 119$ 答えは 119 cm^2 です。

既習事項を活用させることが大切です。
 長さが分からない辺があるよ。
 補助線を引かせて考え方を説明させましょう。
 どの方法がよいのかを判断させることが大切です。

調査結果から明らかになった課題を解決するための「授業改善のポイント」を踏まえた「授業事例」を示しています。ここでは、図形の面積の求め方について複数の解き方を考えさせ、新たな問題に活用できるようにする授業事例を挙げています。

授業に生かせるように具体的な活動例や児童の発言例を載せています。

児童・生徒一人一人の学習のつまずきに応じた授業改善を図ることが大切です。



2 「読み解く力を育む指導の充実」

中学校理科の例

読み解く力を育む指導の充実

Step 1

必要な情報を正確に取り出す力を育む授業改善のポイント

○実験結果を条件に応じて整理させる。

	悦子さんが用意した葉で行った実験		秀雄くんが用意した葉で行った実験	
	試験管A	試験管B	試験管C	試験管D
タンポポを採取した場所	日なたで陽のよく当たるところ		日かげで陽の当たらないところ	
葉を入れた試験管の条件	そのまま	アルミはくで包んだ	そのまま	アルミはくで包んだ
石灰水との反応	変化なし	白くにごった	変化なし	白くにごった
ヨウ素溶液の反応	青紫色になった	青紫色になった	青紫色になった	変色しなかった

二人で行った実験の結果をみると、試験管A、B、Cの葉がヨウ素溶液と反応しているよ。

ヨウ素溶液との反応で青紫色になったということは、でんぷんがあったという証拠だから、試験管A、B、Cの葉がでんぷんをもっていたことが分かるね。

結果を記録する際に、どのようにしたら分かりやすくまとめられるか、見直しをもたせてからまとめさせよう。

同じ実験をしているはずなのに二人で結果が違うね。なぜ試験管BとDの結果は違うのかな。

Step 2

比較・関連付けて読み取る力を育む授業改善のポイント

○実験結果について共通点を読み取らせる。

試験管Bと試験管Dでは石灰水が白く濁ったから、二酸化炭素があったことが分かるね。

試験管Bと試験管Dは、アルミはくで包んでいたから光が当たらず、光合成ができなかったからだ。

○読み取った共通点・相違点を相互に関連付けさせる。

光を当てた試験管Aと試験管Cは、石灰水との変化が見られないよ。だから、二酸化炭素を使って光合成をしてでんぷんを作ったと言えるね。

でんぷんが光合成で作られることを調べるためには、日かげにあってでんぷんをもっていない葉を入れた試験管Cと試験管Dの組合せを比べる必要があるね。

○実験結果について相違点を読み取らせる。

悦子さんは、陽のよく当たるところから葉を取ってきたよ。

秀雄くんは陽の当たらないところから葉を取ってきたよ。

日なたで採取した悦子さんの葉は、光合成をしてでんぷんをつくってもっていた可能性があるね。秀雄くんの用意した葉は日陰で光合成できず、でんぷんをもっていなかったと考えられるね。

Step 3

理解・解釈・推論して解決する力を育む授業改善のポイント

○読み取った内容を整理させ、課題を解決させる。

	悦子さんの実験		秀雄くんの実験	
	試験管A	試験管B	試験管C	試験管D
実験前にでんぷんをもっていたか	もっていた	もっていた	もっていなかった	もっていなかった
実験で光合成をしたか	した	していない	した	していない
二酸化炭素を使ったか	使った	使っていない	使った	使っていない
葉がもっていたと考えられるでんぷんの量の変化	あり ↑ はじめよりも増えた	あり ↓ はじめよりも減った	あり ↑ はじめよりも増えた	なし ↓ 変化はなかった

実験結果から分かったことや考えたことを文章や図表（モデル）で表現させることで、解釈を深めさせることができます。

試験管A、Bの葉は陽の当たるところにあったから、実験前にでんぷんをもっていたと考えられます。そのため、光を当てなかった試験管Bの葉にでんぷんがあったのは、実験前にもっていたでんぷんがまだ残っていたためだと考えられます。

「読み解く力」とは…

必要な情報を正確に取り出す
取り出した情報を比較・関連付けて読み取る
読み取った内容を理解・解釈・推論して課題を解決する

という3つのステップで課題を解決する力です。「児童・生徒の学力向上を図るための調査」では、国語、社会、算数・数学、理科、英語（中学校のみ）の全ての教科において、この「読み解く力」に関する問題を出題しています。

各教科の単元等で、「読み解く力」の3つのステップを取り入れることにより、課題を解決する力を身に付けさせることが大切です。

3 「日常の授業を見直してみよう」

1 単位時間の授業におけるチェックポイント

日常の授業を見直してみよう —1 単位時間の授業におけるチェックポイント—

これまでの「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、授業におけるチェックポイントをまとめてみました。普段の授業を見直すために御活用ください。

- 1 授業を始める前に
 - 授業改善推進プランのポイントを週ごとの指導計画に位置付けていますか。
 - 落ち着いて学習に取り組めるように、教室環境を整えていますか。
 - 授業規律や授業のルールを学年・学校で共通理解・実践していますか。
- 2 授業準備
 - 授業開始の時間を守っていますか。
 - 授業の挨拶（「これから～の授業を始めます」）を行っていますか。

調査結果を基に、授業におけるチェックポイントをまとめました。日常の授業を振り返るための資料として、御活用ください。

調査結果及び授業改善のポイントの詳細は、11月に各学校に配布しました「平成24年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査報告書」を御覧ください。



「 道 徳 教 育 の 窓 」

東京の子供たちの豊かな心を育む

第3章「自分を見つめて学ぶ」の活用について

東京都道徳教育教材集 中学校版「心みつめて」の第3章「自分を見つめて学ぶ」は、中学校学習指導要領第3章 道徳 に基づき、24の内容項目ごとに見開き1ページの構成となっています。

また、第1章・第2章と同様に、道徳の時間だけではなく、各教科、総合的な学習の時間、特別活動など、学校の様々な教育活動で活用できるようにするとともに、特に以下の2点に留意して作成しました。

生徒が、自分の生活や体験を振り返ることで、「いまの自分」を自問自答できる内容にすること、
生徒が、「これからの自分の生き方」について考え、表現できる場面を盛り込むこと。

教育活動の多様な場面での活用について

道徳の時間（道徳授業地区公開講座）及び職場体験活動における活用例を紹介します。

道徳の時間【道徳授業地区公開講座】

生徒の実態等を踏まえ、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進する上で、重点的に取り上げたい内容についての道徳の授業を公開する。

（例） 道徳の授業（主題名：「公德を大切にすること」：学校又は学年で共通）
ねらい：社会生活を営む上で必要とされる約束やきまりを重んじ、互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方を身に付けるとともに、自他への配慮と深い思いやりを大切にすること。態度を育てる。

みんなでつながって、よりよい社会を！（150・151頁）を活用

意見交換会（学校全体又は各学年で実施）

みんなでつながって、よりよい社会を！（150・151頁）を活用
生徒の授業での発言等を取り上げながら、生徒の公德心の育成について、教員・保護者等で意見交換を行う。

取り上げた内容について、道徳授業地区公開講座に参加者した方々に、ぜひ、家庭等でも、生徒と話し合ってもらいたい旨を話す。参加していない保護者の方々へは、学年便りを通して伝える。

【職場体験活動】 「働く」ということを考える（156・157頁）を活用

事前学習

教材集を活用して「働くこと」「仕事」について話し合ったり、自分の考えを書いたりする。

職場体験学習

事後学習

教材集を活用して、「働くこと」「仕事」について、どんな考えをもったのかを記入する。

生徒に「いまの自分」と「これからの自分の生き方」を見つめさせるに当たって、第3章「自分を見つめて学ぶ」が、学校の教育活動の様々な場面で活用されることを願っています。

「理数教育の窓」

理数好きの子供たちを育てるために

理科の学習の有用性を実感させましょう！

児童・生徒の理科の学習への関心を高めるためには、理科の学習の有用性を実感する機会をもたせることが重要です。

しかし、今年度、文部科学省が行った「平成24年度 全国学力・学習状況調査の質問紙調査」において、「理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ。」と回答した東京都の児童・生徒の割合は、小学校第6学年児童が41.5%、中学校第3学年生徒が20.1%であり、理科の学習の有用性について認識している児童・生徒が少ないことが分かりました。

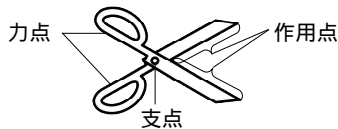
児童・生徒が理科の学習の有用性を実感できるようにするためには、理科で学んだことを実生活に関連付けて考えさせる場面を設定することが重要です。ここでは、その具体的な指導例を紹介します。

【小学校】第6学年「てこの規則性」の指導例

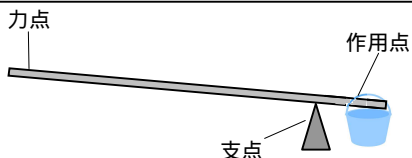


はさみをどのように使くと、小さな力で物を切ることができますか。

はさみをてことして考えると、支点・力点・作用点はこのようになる。



支点と作用点の距離をどのようにすると、小さな力で物を持ち上げることができましたか。



作用点と支点を近くすると、小さな力で持ち上げることができました。



そのことを、はさみに当てはめて考えてみましょう。

なるべく支点到りで、物を切れば、小さな力で切れると思います。



それでは、実際に使ってみましょう。

本当だ！
支点到りで物を切ると、小さな力で切れた！

【中学校】第2学年「電流と磁界」の指導例

家庭には、契約している電流量を超えないようにするための、ブレーカー（アンペアブレーカー）という装置が設置されています。同時にたくさんの電気製品を使用するとブレーカーが作動して、電気が止まってしまう。



ドライヤーを使っていたら、突然家中の電気が止まってしまって、びっくりしました。

どのくらいの電力を使うと、電気が止まってしまうのでしょうか。家庭の電気の電圧を100V、契約アンペア値を30Aとして、電力を計算してみましょう。



電力[W] = 電圧[V] × 電流[A]
だから、
100[V] × 30[A] で3000Wだ。

そうですね。契約アンペア値が30Aのとき、使用できる電力は3000Wになります。各電気製品が消費する電力を調べて計算すると、同時に使える電気製品が分かります。



なるほど。家に帰ったら、調べてみよう。

家に帰って



家の契約アンペア値は30Aだった。
電子レンジは1200W、自動食器洗い機は1300W、ドライヤーは800Wだから、同時に使えないことが分かった！

「特別支援教育の窓」

全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指してー

通常の学級と通級指導学級との連携（学年末に向けて）

通常の学級においては学年末に向けて、来年度の指導計画の立案や学級担任が替わることを想定し、通級指導学級の教員との緊密な連携のもと、「個別指導計画」のまとめや「個別の教育支援計画」の内容の確認・更新を行いましょう。

ポイント



対象となる児童・生徒の一年間の成長や変化の様子について、通級指導学級の教員や保護者と、具体的に共通理解を図ることが大切です。

- ・ 本人の「伸びたところ」「今できること」などに焦点をあて、児童・生徒の豊かな学校生活を支える視点をもってケース会議を行うことが大切です。その際に留意したいことは、指導の手だて（「 といった工夫をすればできる」といった指導の工夫）も併せて整理・共有し、進級や進学の際に確実に引き継ぐことです。
- ・ 通級指導学級における指導法の中には、在籍学級や家庭でも活用できる工夫がたくさんあります。通級指導学級における指導の工夫をもとに、円滑な進級・進学ができるよう、「在籍学級でできること」や「家庭でできること」などを三者で確認しましょう。

引き継ぎには「個別の教育支援計画」を活用しましょう。

「学級担任が替わるたびに同じ説明をしなければならない」、「指導の手だてが引き継がれていない」といった保護者の悩みを聞くことがあります。保護者の心情に寄り添い、保護者との相談・共通理解のもと、「個別の教育支援計画」を有効に活用し、確実な引き継ぎや「個別指導計画」等の内容の更新を行いましょう。



学級担任の専門性の向上が求められています。



- ・ 通級指導学級における指導は、終了に向けた指導ステップの見通しをもって開始することが大切です。その際は、通級による指導の時間を順次減らすなどして、在籍学級における指導に円滑につなげていくことが必要になります。

保護者は誰よりも、学級担任に期待をしています。

在籍学級における指導へと円滑につなげていくためには、通級指導学級における指導の成果や指導の手だてを、在籍学級においても積極的に取り入れていくことが大切です。

通級指導学級の教員の指導の成果や指導法の工夫（指導の手だて）から学ぶ。そのことが、学級担任の指導力の向上につながります。

学級担任と通級指導学級の教員が緊密な連携を図ることの意味は、単に児童・生徒の指導経過等について情報交換を行うことだけではありません。

通常の学級の教員一人一人が、通級指導学級の教員との連携の機会を、「自らの専門性を高める貴重な機会」として捉える姿勢が大切です。

平成24年度 教育研究員発表会開催一覧

(幼稚園・小学校)

	日時・会場・最寄駅	研究主題・研究概要
幼稚園	<p>【日時】平成25年2月22日(金) 午後0時30分から4時30分まで (受付:午後0時20分から)</p> <p>【会場】文京区立千駄木幼稚園 〒113-0022 文京区千駄木5-43-3</p> <p>【電話】03-3823-4605</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロ南北線 本駒込駅 徒歩10分 ・東京メトロ千代田線 千駄木駅 徒歩10分 	<p>研究主題 「幼児同士が認め合う関係を築くための教師の役割を探る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が遊ぶ姿を分析する中で、幼児同士が認め合うようになるための過程があるのではないかと考えた。この分析を基に、「幼児同士が認め合うようになるための経験の積み重ね」を明らかにする。 ・「幼児同士が認め合うようになるための経験の積み重ね」に応じた援助を行うことにより、幼児が認め合うようになる姿を生み出せると考え、効果的な教師の援助を探る。 <p>公開保育 (学年未定) 公開保育開始時刻 (午後0時30分)</p>
国語	<p>【日時】平成25年1月28日(月) 午後1時45分から午後4時40分まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会場】千代田区立麹町小学校 〒102-0083 千代田区麹町2-8</p> <p>【電話】03-3263-7337</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京メトロ有楽町線 麹町駅 徒歩5分 ・東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 徒歩5分 	<p>研究主題 「内容や表現を関連付けることで、読む力を高める指導の工夫」～文学的な文章を読むことを通して～</p> <p>東京都が実施した平成23年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果によると、国語科では、「比較・関連付けて読み取る力」、「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」に課題があることが分かった。そこで、課題を解決するために「言語活動の工夫」「『関連付ける指導』の工夫」「交流の工夫」を視点として研究を進めてきた。</p> <p>公開授業 (第3学年、第5学年、第6学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>
社会	<p>【日時】平成25年2月26日(火) 午後1時45分から5時まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会場】武蔵野市立千川小学校 〒180-0011 武蔵野市八幡町3-5-25</p> <p>【電話】0422-51-3695</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武新宿線 西武柳沢駅 下車 関東バス 八幡町下車 徒歩3分 三鷹駅行(鷹13三鷹駅) 吉祥寺駅行(吉53吉祥寺駅) 	<p>研究主題 「社会的事象を関連的に捉え、よりよい社会の在り方について考えを表現する学習指導の工夫」</p> <p>本学会では、まず社会的事象を様々な視点から関連的に捉え、確かな社会認識を形成し、その上で、よりよい社会の在り方を考えさせるという学習過程を採用し、教材開発、指導の工夫をしていくこととした。このような取組を行うことで、よりよい社会を形成する一員としての児童を育成できると考え、研究を進めてきた。</p> <p>公開授業 (第5学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>

算数	<p>【日 時】平成25年2月12日(火) 午後1時45分から午後5時まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】千代田区立昌平小学校 〒101-0021 千代田区外神田3-4-7</p> <p>【電話】03 3251-0448</p> <p>【最寄り駅】 ・JR山手・総武線・東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「数学的な思考力・表現力の育成」～受信力を高める指導の工夫～</p> <p>・研究仮説 次のような指導を繰り返し行えば、数学的な思考力・表現力を育成することができるだろう。 受信してほしい児童の考えのよさを明らかにする。 児童に受信する視点をもたせる。 受信した考えのよさを表出させる。 友達の考えのよさを共有する。 公開授業 (第2・3・6学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>
理科	<p>【日 時】平成25年2月22日(金) 午後1時30分から午後5時まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】八王子市立浅川小学校 〒193-0845 東京都八王子市初沢町1335</p> <p>【電話】042-661-0019</p> <p>【最寄り駅】 ・JR中央線 高尾駅 徒歩5分 ・京王線 高尾駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「身近な事物・現象と学びとのつながりに気付く児童の育成」～教材の特性と活用する場面に着目して～ 「身近な事物・現象と学びとのつながりに気付く児童」とは、理科の授業で学習したことを日常生活に結び付け、理科の有用性を実感できる児童と定義した。 このような児童を育成するために、理科の有用性を実感できる教材と、学習した知識が日常生活と結びついていると実感できる指導について研究を行った。 公開授業 (第4・5・6学年) 授業開始時刻 (午後1時30分)</p>
生活	<p>【日 時】平成24年2月5日(火) 午後1時45分から4時45分まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】清瀬市立芝山小学校 〒204-0021 東京都清瀬市元町2-16-8</p> <p>【電話】042-493-4312</p> <p>【最寄り駅】 ・西武池袋線 清瀬駅 徒歩10分</p>	<p>研究主題 「児童の気付きの質を高める振り返り活動の工夫」</p> <p>1 振り返り表現する機会の工夫 気付いたことを基に考えさせ気付きの質を高めるには、見付ける、比べる、たとえるなどの多様な学習活動や、教師の働きかけ、言葉かけを工夫する。</p> <p>2 伝え合い交流する場の工夫 互いに伝え合い交流することで、一人一人の気付きの質を高め、集団としての学習を高めるとともに、相手意識、目的意識をもたせることにより児童の学習を促進する。 公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>

音楽	<p>【日 時】平成24年2月28日(木) 午後1時45分から午後5時まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】葛飾区立東綾瀬小学校 〒124-0006 葛飾区堀切6-21-1</p> <p>【電話】03-3602-8123</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京成線 堀切菖蒲園駅 徒歩15分 ・東京メトロ千代田線 綾瀬駅 徒歩20分 	<p>研究主題 「知覚・感受を深める指導と評価の工夫」 題材において知覚・感受すべき〔共通事項〕の具体的な内容を明確にし、児童の意識の流れに沿った指導と評価を工夫することで、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりすることができる児童の育成につながるかを検証する。</p> <p>公開授業 (第4学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>
図画工作	<p>【日 時】平成25年2月7日(木) 午後1時30分から午後5時まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】世田谷区立松沢小学校 〒156-0044 世田谷区宮沢4-44-22</p> <p>【電話】03-3323-0441</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京王線 下高井戸駅 徒歩2分 	<p>研究主題 「図画工作の評価」～児童の資質や能力を伸ばすために～ 児童の活動の過程に視点を置き、各題材における評価の対象や評価の方法について具体的に検証した。また、評価の結果を授業改善に生かし、更なる資質や能力の育成に迫るための研究を行った。</p> <p>公開授業 (第5学年) 授業開始時刻 (午後1時30分)</p>
体育	<p>【日 時】平成25年2月12日(火) 午後1時50分から5時まで (受付:午後1時20分から)</p> <p>【会 場】杉並区立桃井第一小学校 〒167-0034 杉並区桃井2-6-1</p> <p>【電話】03-3390-3178</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線 荻窪駅 徒歩15分 	<p>研究主題 「運動の楽しさや喜びを味わいながら、確かな力を身に付ける体育学習」～調査研究を基にした単元計画づくりを中心として～ 運動の特性や児童の発達の段階を踏まえた指導計画を作成し、指導方法を工夫することで研究主題に迫る。</p> <p>公開授業 (第4学年・第6学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>
家庭	<p>【日 時】平成25年2月12日(火) 午後1時45分から午後4時まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】練馬区立北町小学校 〒179-0081 練馬区北町1-14-11</p> <p>【電話】03-3932-3296</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東武東上線 東武練馬駅 徒歩10分 	<p>研究主題 「自分の成長を喜び、生活をよりよくしようとする児童の育成」～「A家庭生活と家族」と「D身近な消費生活と環境」を他の内容と関連付けた題材構成の工夫を通して～ 研究の視点として、1 題材構成の工夫、2 家庭との連携、3 言語活動の充実、4 評価の工夫を設定した。「内容Aや内容Dを意図的に関連付けた課題提示によって、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や実践化につながり、工夫して実生活に活用できる児童が育つであろう。」を研究仮説として、授業研究をとおして検証する。</p> <p>公開授業 (第5学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>

道徳	<p>【日 時】平成25年2月21日(木) 午後1時35分から午後4時まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】江戸川区立平井第二小学校 〒132-0035 江戸川区平井6-1-17</p> <p>【電話】03-3613-6581</p> <p>【最寄り駅】 ・JR総武線 平井駅 徒歩7分</p>	<p>研究主題 「感動する心を磨き、畏敬の念を育てる道徳の時間」 ～感動の意識化を図る指導の工夫～</p> <p>本研究では「畏敬の念」に焦点を当て、「畏敬の念」を育てる道徳授業の工夫として、以下の3点を考えた。 資料の精選 発問の工夫 話し合い活動の工夫</p> <p>このような工夫を通して、感動の意識化を図り、感動する心を磨く道徳の時間の授業を提案する。</p> <p>公開授業 (第3学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
外国語活動	<p>【日 時】平成25年2月14日(木) 午後1時35分から4時30分まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】台東区立根岸小学校 〒110-0003 東京都台東区根岸3-9-8</p> <p>【電話】03-3876-2411</p> <p>【最寄り駅】 ・JR山手線 鶯谷駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「これを聞きたい これを伝えたい」～伝え合う内容に意味をもたせる授業作り～</p> <p>ほとんどの児童は外国語活動に楽しく取り組んでいる。では、児童の意欲をさらに高める活動とはどのようなものなのか。児童が積極的に活動に取り組みたくなるような授業の展開を研究した。</p> <p>公開授業 (第6学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>
総合的な学習の時間	<p>【日 時】平成25年1月29日(火) 午後1時45分から4時45分まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】千代田区立和泉小学校 〒101-0024 千代田区神田和泉町1</p> <p>【電話】03-3866-3939</p> <p>【最寄り駅】 ・JR山手線・総武線・東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 徒歩10分 ・都営新宿線 岩本駅 徒歩13分</p>	<p>研究主題 「自ら課題を設定し、主体的に探究する児童の育成」 ～学習対象と自己との結び付きを重視した指導の工夫を通して～</p> <p>児童が主体的に探究するためには、自分にとって価値のある課題を設定することが不可欠である。本部会では、「学習対象と自己との結び付き」に着目し、そのための指導の工夫として、以下の3点を考えた。 学習対象とのかかわり方や出会わせ方の工夫 体験活動の工夫 振り返り活動の工夫</p> <p>このような工夫を通して、児童の主体的な探究につながる課題設定の在り方について提案する。</p> <p>公開授業 (第5学年) 授業開始時刻 (午後1時45分)</p>

特別活動	<p>【日 時】平成25年2月14日(木) 午後2時から4時45分まで (受付：午後1時30分から)</p> <p>【会 場】新宿区立愛日小学校 〒162-0834 新宿区北町2-6</p> <p>【電 話】03-3266-1604</p> <p>【最寄り駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都営大江戸線 牛込神楽坂駅 徒歩約5分 ・東京メトロ東西線 神楽坂駅 徒歩約10分 	<p>研究主題</p> <p>「よりよい生活を目指し、『協同』して取り組む児童の育成」</p> <p>本部会では、特別活動が「望ましい実践的な集団活動として展開される教育活動」であるという視点から、研究主題を「よりよい生活を目指し、『協同』して取り組む児童の育成」と設定した。集団の一員としてよりよい生活を築くためには、児童一人一人が学級や学校の生活上の課題を見だし、課題から学級全体で目標を設定し、共有することが必要である。学級の児童全員が共通の目標をもつことにより、活動に対する意欲が高まり、協力し合って主体的に諸問題を解決することができる。そこで、「共通の目標に向かって協力する児童」を育てるための有効な手だてについて、学級活動内容「(1)学級や学校の生活づくり」及び学級活動内容「(2)日常生活や学習への適応及び健康安全」の両面から、授業研究を通して検証していく。</p> <p>公開授業 (第4学年) 授業開始時刻 (午後2時)</p>
------	--	---

(中学校)

	日時・会場・最寄駅	研究主題・研究概要
国語	<p>【日 時】平成25年2月15日(金) 午後1時35分から4時30分まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】豊島区立千登世橋中学校 〒171-0031 豊島区目白1-1-1</p> <p>【電話】03-3987-6285</p> <p>【最寄り駅】 ・JR山手線 目白駅 徒歩15分</p>	<p>研究主題 「交流活動によって、目的や意図に応じて書く力を高める指導の工夫」 「書くこと」の学習過程において 交流活動 に取り組ませ、多面的・多角的な視点から自己の表現の仕方を吟味できるようにする。</p> <p>公開授業 (第1学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
社会	<p>【日 時】平成25年2月12日(火) 午後1時25分から4時30分まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】府中市立府中第三中学校 〒183-0027 府中市本町4 16 10</p> <p>【電話】042-361-9303</p> <p>【最寄り駅】 ・JR南武線、京王線分倍河原駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「思考力・判断力・表現力を育む指導と評価の工夫」 よりよい社会に向けて知識や技能を活用し、考察したことを表現する学習活動や、表現した内容を客観的に評価し、意欲を高める工夫を、意図的・計画的に単元内に盛り込み、指導と評価をくり返していくことで、生徒の思考力・判断力・表現力を育む。</p> <p>公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後1時25分)</p>
数学	<p>【日 時】平成25年2月19日(火) 午後1時35分から4時まで (受付:午後1時15分から)</p> <p>【会 場】板橋区立加賀中学校 〒173-0003 板橋区加賀2-19-1</p> <p>【電話】03-3962-6331</p> <p>【最寄り駅】 ・都営三田線 板橋本町駅 徒歩15分 ・JR埼京線 十条駅 徒歩10分</p>	<p>研究主題 「数学的な見方や考え方を育む指導の在り方」 ～第1学年 単元「資料の活用」を通して～ 学習指導要領の改訂に伴い、新たに指導することになった「資料の活用」における思考力・判断力・表現力等を育成するための指導の在り方についての実践的な研究について発表を行う。</p> <p>公開授業 (第1学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
理科	<p>【日 時】平成25年2月4日(月) 午後2時10分から5時まで (受付:午後1時50分から)</p> <p>【会 場】大田区立南六郷中学校 〒144-0045 大田区南六郷3-2-1</p> <p>【電話】03-3732-9351</p> <p>【最寄り駅】 ・京浜急行線 雑色駅 徒歩10分</p>	<p>研究主題 「言語活動を通じた、科学的な思考力・表現力の向上を図る授業の工夫」 ・思考の広がりや深まりを目指したグループ活動の工夫 ・話し合い活動や発表活動を活発に行うための教具の開発</p> <p>公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後2時10分)</p>

音楽	<p>【日 時】平成25年2月21日(木) 午後1時35分から4時45分まで (受付:午後1時15分から) 【会 場】小平市立上水中学校 〒187-0021 小平市上水南町1-7-1 【電話】042-323-8611 【最寄り駅】 ・西武多摩湖線 一橋学園駅 徒歩15分 ・JR 中央線 国分寺駅から西武バス 小平 駅南口行き「桜堤」下車 徒歩3分</p>	<p>研究主題 「生徒が自ら音や音楽のよさを感じ取り、表現するための指導及び評価の工夫」 生徒にイメージや表現意図をもたせ、主体的に表現させるための指導及び評価の工夫を「思考・判断・表現する学習活動の工夫」と「主体的に学習に取り組ませる指導と評価の工夫」の二つと捉え、効果的な指導及び評価の方法を研究した。 公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
美術	<p>【日 時】平成25年2月21日(木) 午後1時30分から5時まで (受付:午後1時) 【会 場】八王子市立柵田中学校 〒193-0942 八王子市柵田町172 【電話】042-665-3473 【最寄り駅】 ・JR 中央線 八王子駅から京王バス め じろ台行き「大巻観音」下車 徒歩1分 ・京王線 めじろ台駅から京王バス 八王 子駅南口行き「大巻観音」下車 徒歩1分 法政大学行き「柵田」下車 徒歩3分</p>	<p>研究主題 「小・中学校の連続性を考慮し、生涯にわたり美術を愛好していく心情を育てる授業づくり」 小・中学校の教科の目標や教育内容の系統性を踏まえながら継続的な指導を行うことで、「生涯美術を愛好する心情」が育まれると考え、本題材を設定した。 公開授業 (第1学年) 授業開始時刻 (午後1時30分)</p>
保健体育	<p>【日 時】平成25年2月19日(火) 午後1時30分から5時まで (受付:午後1時から) 【会 場】府中市立府中第二中学校 〒183-0027 府中市紅葉丘1-23-13 【電話】042-363-9122 【最寄り駅】 ・京王線 多磨霊園駅 徒歩15分 ・西武多摩川線 白糸台駅 徒歩10分</p>	<p>研究主題 「運動する意欲を高める体育授業の工夫」 ～球技(ゴール型:バスケットボール)を通して～ 運動の特性や魅力に触れるために必要となる技能を明確にし、段階を踏んで技能を習得できる学習過程を工夫することで、生徒が自己の課題を発見し、協力して技能を身に付け、達成感を味わうことで運動する意欲を高めることができるという仮説のもと、単元指導計画や学習カード等を提案する。 公開授業 (第1学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
技術・家庭	<p>【日 時】平成25年2月5日(火) 午後1時30分から5時まで (受付:午後1時から) 【会 場】目黒区立第八中学校 〒152-0003 目黒区碑文谷4-19-25 【電話】03-3714-4594 【最寄り駅】 ・東急東横線 都立大学駅 徒歩10分</p>	<p>研究主題 「ものづくりを支える能力を育むための言語活動を重視した指導の工夫」 思考力・判断力・表現力の充実を図るために、生徒の発達段階や学習の流れを考慮しながら、言語活動を授業計画の中のどの部分にどのような形で組み込むことがより有効な指導となるかを授業から検証した。 公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後1時30分)</p>

<p>外国語</p>	<p>【日 時】平成25年2月15日(金) 午後1時40分から4時45分まで (受付:午後1時10分から) 【会 場】墨田区立向島中学校 〒131-0032 東向島4-18-9 【電話】03-3614-4560 【最寄り駅】 ・東武伊勢崎線 東向島駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「小学校外国語活動を生かした言語活動の工夫」 外国語活動の指導内容及び指導方法を踏まえた中学校外国語科の授業における言語活動の工夫 公開授業 (第1学年) 授業開始時刻 (午後1時40分)</p>
<p>道徳</p>	<p>【日 時】平成25年1月28日(月) 午後1時30分から4時30分まで (受付:午後1時から) 【会 場】中野区立南中野中学校 〒164-0014 中野区南台5-22-17 【電話】03-3381-7277 【最寄り駅】 ・東京メトロ丸の内線 方南町駅 徒歩5分</p>	<p>研究主題 「生徒が生き生きと活動し、思考を深める道徳の時間の工夫」道徳の時間において、小集団での話し合い活動と書く活動を工夫することにより、ねらいとする道徳的価値に迫る思考や自分を見つめる思考を深めていく。 公開授業 (第2学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
<p>総合的な学習の時間</p>	<p>【日 時】平成25年2月1日(金) 午後1時35分から4時30分まで (受付:午後1時から) 【会 場】港区立港南中学校 〒108-0075 港区港南4-3-3 【電話】03-2371-0238 【最寄り駅】 ・JR京浜急行線 品川駅 徒歩15分 ・りんかい線・東京モノレール 天王洲アイル駅 徒歩15分</p>	<p>研究主題 「地域社会との関わりを通して、生きる力を育む指導の工夫」～自己の生き方について考えさせる探究的な学習～どの学校でも実践できる「地域社会と関わる」ことをテーマとし、様々な関わりあいから、生きる力を育むと同時に、自分に自信をもち、社会とどう関わって生きていくのかを考えさせる指導の工夫について提案する。 公開授業 (第3学年) 授業開始時刻 (午後1時35分)</p>
<p>特別活動</p>	<p>【日 時】平成25年2月15日(金) 午後2時30分から5時まで (受付:午後2時から) 【会 場】東村山市立東村山第五中学校 〒189-0011 東村山市恩多町4-38-1 【電話】042-391-9115 【最寄り駅】 ・西武新宿線 東村山駅 徒歩15分</p>	<p>研究主題 「よりよい人間関係を築くための自主的・実践的な態度を身に付けさせる学級活動の指導と評価の工夫」 学級活動(1)においてジグソー法を用いるとともに、自己評価や相互評価、教師による評価を活用して、よりよい人間関係を築くための自主的・実践的な態度を身に付けることをねらいとしている。 公開授業 (第3学年) 授業開始時刻 (午後2時30分)</p>

(特別支援教育)

	日時・会場・最寄駅	研究主題・研究概要
(知的障害教育グループ) 特別支援学校部会	<p>【日 時】平成25年2月14日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】都立八王子特別支援学校 〒193-0931 八王子市台町3-5-1</p> <p>【電 話】042-621-5500</p> <p>【最寄り駅】 ・京王線 山田駅 徒歩15分 ・JR中央線 西八王子駅 徒歩15分</p>	<p style="text-align: center;">研究主題</p> <p>「個別指導計画に基づく個に応じた授業展開」 ～個別指導計画と授業をつなげるしくみについて～ 個別指導計画の目標や手だてを踏まえた授業の充実が図られるよう、年間指導計画と日々の授業とをつなぐ「単元計画シート」作成とその活用について、研究成果を報告する。</p> <p style="text-align: right;">公開授業 (小学部 第4学年) 授業開始時刻 (午後2時10分)</p>
(聴覚障害・肢体不自由・病弱グループ) 特別支援学校部会	<p>【日 時】平成25年2月28日(木) 午後10時30分から午後4時30分まで (受付:午前10時から)</p> <p>【会 場】都立小平特別支援学校 〒187-0035 小平市小川西町2-33-1</p> <p>【電 話】042-342-1671</p> <p>【最寄り駅】 ・西武拝島線・西武国分寺線 小川駅 徒歩5分</p>	<p style="text-align: center;">研究主題</p> <p>「個別指導計画に基づく個に応じた授業展開」 ～集団の授業における評価シートの活用について～ 特別支援学校では、個別指導計画を活用した授業のより一層の充実が求められている。本部会では、集団の授業においても「評価シート」を活用し、個に応じた指導の充実を図ることについて、研究成果を報告する。</p> <p style="text-align: right;">公開授業 (中学部) 授業開始時刻 (午前10時45分)</p>
特別支援学級部会	<p>【日 時】平成25年2月21日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで (受付:午後1時から)</p> <p>【会 場】文京区立林町小学校 〒112-0011 文京区千石2-36-3</p> <p>【電 話】03-3946-0421</p> <p>【最寄り駅】 ・都営三田線 千石駅 徒歩8分</p>	<p style="text-align: center;">研究主題</p> <p>「個別指導計画に基づく個に応じた授業展開」 ～集団の授業における個別指導計画活用シートの実践～ 特別支援学級において指導を計画的・組織的に行うためには、個別指導計画を活用することが大切である。個に応じた指導が効果的に行われるよう、「個別指導計画活用シート」を利用した授業展開について研究成果を報告する。</p> <p style="text-align: right;">公開授業 (小学校特別支援学級 第1～第5学年) 授業開始時刻 (午後1時40分)</p>